

新入会員からごあいさつ

竹田総合病院 佐藤 望（医療協議会）

本年度より、福島県栄養士会に入会させていただきました佐藤望と申します。

私は病院管理栄養士として勤務しており、給食管理業務を担当しております。

この春から当院系列の児童発達支援施設の担当となり、献立作成や施設で開催する食育活動に参加させて頂きながら、子供達の栄養サポートにあたっております。食事の盛付け配膳、ミールラウンドを通し子供達の食べ具合を確認し、直接施設スタッフや子供達から意見を伺い、より良い食事提供に向け毎日奮闘しています。

今後は栄養士会の研修等に参加させて頂き、病院管理栄養士としての必要な知識や情報を吸収し、業務の中に反映していきたいと思います。ご指導の程よろしくお願い致します。

介護老人保健施設サンライフゆもと 佐藤 成美（福祉協議会）

本年度より福島県栄養士会に入会させていただきました佐藤成美と申します。

私は、7年ほど病院で委託給食に携わり食事を作り、栄養士業務に取り組んできました。仕事がマンネリ化していく中、実際に作ったお食事がどのように入所者様に提供されて食べられているのか自分の目で見ながら栄養に関わりたいと思うようになりました。管理栄養士の資格を取り、現在は介護老人保険施設で高齢者の栄養管理に携わっています。

コロナ渦で施設行事を自粛する中、食事は唯一の楽しみです。お家に帰ったら「畑仕事がしたい」「漬物をつけたい」など入所者様のニーズに応えられるよう他職種協力のもと簡単な調理実習を行っています。施設イベントの流しそうめん提供時には一緒に「きゅうりと白菜の浅漬け」を作っていました。味見をして「もう少し塩を入れたほうがいいね」「力を入れて揉み込むんだよ」と会話をしながら他の入所者様にも振る舞って美味しくいただきました。料理を作るという目的だけでなく、身体機能や調理機器を正しく使えるか把握する機会にもなる為、食事準備のヒントを得られます。

最後に、これからも食事を通して高齢者の健康と食支援に関わり、入所者様の在宅復帰をサポートしていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

先輩会員からのエール

福島県栄養士会副会長 中村 啓子（地域活動協議会）

私は、栄養士会に入会して、51年になります。職場の先輩、同僚からのご指導もいっぱい頂きましたが、栄養士会主催の研修会で学んだことや仲間作りができたことが、私の1番の財産になっています。社会のニーズに対応するためには、専門職として常に最新の情報とスキルを習得して行くことが責務です。

学会に入っているから栄養士会には入会しないとの声も聴かれますが、栄養士会は、専門職としての教育研修会です。

もうひとつ、自分が仕事を上手く成し遂げる為、或いは自分自身が成長する為には、自分自身の努力は最低限必要なことです。しかし、それと同じくらい大事なことは周囲に助けてもらうことです。周囲に助けてもらうことは簡単です。「ありがとう」の言葉とさり気ない気配りです。また「目配り」です。

ますます多様化する食生活、食環境の中、食・栄養の専門職としてご活躍を続けてください。